



しゅら



チビッコが交通安全パレード

秋の交通安全運動が展開されていますが、相内保育所（川口定雄所長）では、このほど、園児鼓笛隊により村内目ぬき通りを交通安全パレードを行いました。パレードに先立ち、白川村長から「交通事故防止は村民ひとりひとりの自覚と協力があれば絶対防止出来る。事故防止のため、みんなで立ちあがろう」とあいさつ、このあと金木警察清野次長から交通事故防止対策の説明がありました。

秋の全国交通安全運動の重点目標は、①子どもと老人を交通事故から守る。②暴走飲酒車の追放。③シートベルト、ヘルメットの着用励行の三点であり、真っ赤なコスチュームを着けたパントワライや、元氣いっぱい行進する鼓笛隊のよい子たちに沿道からも大きな拍手がおくられていました。

（関連記事四面に）

パレードには、園児のほか母の会々員や各関係機関団体からも五十人が参加し、交通安全を呼びかけました。

昭和53年 9 月号

市浦村長寿番付

東 方

西 方

氏名	年令	生年月日	地区
横間 綱	90	21. 2. 10	十 三
大開 脇	90	21. 4. 10	相 内
小前 結	88	23. 2. 18	相 内
前頭 1	87	24. 7. 20	相 内
2	86	24. 9. 25	三 十
3	86	25. 5. 5	相 内
4	85	25. 10. 16	三 十
5	85	26. 2. 20	太 田
6	84	26. 9. 17	太 田
7	84	26. 11. 10	三 十
8	84	26. 12. 5	元 元
9	84	27. 2. 9	相 内
10	84	27. 8. 7	相 内
11	83	27. 10. 24	太 田
12	83	27. 12. 14	相 内
13	83	28. 3. 17	田 松
14	83	28. 6. 28	相 内
15	83	28. 7. 17	相 内
16	83	28. 8. 19	十 三
17	82	28. 11. 5	元 元
18	82	29. 2. 17	松 三
19	82	29. 5. 18	元 元
20	81	29. 10. 10	三 十
21	81	29. 11. 17	松 三
22	81	30. 2. 18	太 田
23	81	30. 3. 15	相 内
24	81	30. 4. 10	田 松
25	81	30. 6. 1	松 三
26	81	30. 6. 6	松 三
27	80	30. 10. 29	相 内
28	80	30. 11. 10	川 三
29	80	30. 12. 7	十 三
30	80	30. 12. 10	三 十
31	80	31. 1. 10	太 田
32	80	31. 4. 15	三 十
33	80	31. 6. 18	三 十
34	80	31. 8. 16	三 十
十両 1	80	31. 8. 16	三 十
2	79	31. 9. 16	元 元
3	79	31. 9. 30	三 十
4	79	32. 1. 10	三 十
5	79	32. 3. 2	三 十
6	79	32. 4. 22	三 十
7	79	32. 8. 1	相 内
8	78	32. 10. 10	三 十
9	78	32. 11. 20	三 十
10	78	33. 1. 25	三 十
11	78	33. 3. 4	三 十
12	78	33. 3. 22	相 内
13	78	33. 4. 27	元 元
14	78	33. 5. 10	松 三
15	78	33. 6. 22	三 十

氏名	年令	生年月日	地区
横間 綱	90	21. 2. 14	相 内
大開 脇	89	22. 3. 15	相 内
小前 結	87	23. 9. 16	元 元
前頭 1	87	24. 8. 24	松 三
2	86	24. 11. 23	松 三
3	86	25. 8. 10	松 三
4	85	26. 2. 6	相 内
5	85	26. 7. 17	川 三
6	84	26. 9. 23	三 十
7	84	26. 11. 15	松 三
8	84	26. 12. 10	元 元
9	84	27. 7. 2	相 内
10	84	27. 8. 20	元 元
11	83	27. 11. 10	相 内
12	83	27. 12. 28	太 田
13	83	28. 5. 24	太 田
14	83	28. 7. 6	松 三
15	83	28. 8. 1	相 内
16	82	28. 9. 19	三 十
17	82	29. 1. 5	三 十
18	82	29. 5. 7	相 内
19	82	29. 7. 10	三 十
20	81	29. 11. 12	元 元
21	81	29. 12. 9	相 内
22	81	30. 2. 18	元 元
23	81	30. 4. 10	相 内
24	81	30. 4. 21	太 田
25	81	30. 6. 3	松 三
26	80	30. 10. 26	三 十
27	80	30. 11. 8	相 内
28	80	30. 11. 27	相 内
29	80	30. 12. 9	元 元
30	80	31. 1. 2	元 元
31	80	31. 3. 8	元 元
32	80	31. 5. 21	松 三
十両 1	80	31. 7. 20	太 田
2	79	31. 9. 14	三 十
3	79	31. 9. 28	太 田
4	79	32. 1. 9	太 田
5	79	32. 2. 23	松 三
6	79	32. 4. 20	相 内
7	79	32. 5. 23	三 十
8	79	32. 8. 12	元 元
9	78	32. 10. 12	元 元
10	78	33. 1. 16	元 元
11	78	33. 2. 13	相 内
12	78	33. 3. 15	相 内
13	78	33. 4. 10	松 三
14	78	33. 5. 5	元 元
15	78	33. 5. 15	松 三
16	78	33. 6. 27	元 元

蒙御免

(明治三十三年八月三十一日まで
に生れた満七十八歳以上の方)

勸進元

市浦村役場

東 方



横綱 古川リワ



大関 渋谷みよ



関脇 小林おり

九月十五日は「敬老の日」。村では今年も、長寿番付を作成し、長い間社会に貢献してきたお年寄りを顕彰しました。

七十歳以上のお年寄りは九月一日現在で三二四人、総人口の七・一%を占めており、八十歳以上は六十五人（男28人、女37人）で総人口の一・五%となっています。

また夫婦そろって幕内、十両は、葛西磯吉・そよさん、浜田男茶・マユさん、山田弥一・ユミさん、武田忠次郎・キツの四夫婦です。

地区別70歳以上の人口 (52、9、1)

	総数	男	女
相内	84	37	47
太田	29	18	11
桂川	8	2	6
脇元	73	30	43
磯松	49	15	25
十三	80	38	42
計	314	140	174

西 方



横綱 村山正三



大関 柏谷とめ



関脇 山田弥一

八十歳以上の幕内は六十五人

横綱は古川さんと村山さん

米寿おめでとう 小林さん



米寿を迎えた弥一さんとユミさん夫妻



多治見の湯のみを手に小林さん

郵政省では、簡易保険事業の一つとしてこのしも「米寿」を迎えた人たちに記念品を贈りました。

本村では相内地区の小林おりさんと脇元地区の山田弥一さんがめでたく「米寿」を迎え、三和相内郵便局長から記念品として多治見の湯のみが手渡されました。

「米寿」を迎えた小林さんと山田さんはともに明治二十三年生れで八十八歳。明治、大正、昭和の困難な時代に生き抜いてきた社会の功労者です。

小林さんは、これまで大きな病気をしたこともなく、八十八歳になっても簡単に農作業を手伝ったりしており、まだまだ元気そのものです。

山田さんは、夫婦そろって長寿番付に紹介されていますが、日ごろの精進が実を結んだものとして、長寿のはまれを高くしています。

また、山田さんは、若いころから村でも評判の働き者で、いまでも若い人たちの手助けをしています。最近腰を痛めて一カ月ほど入院。このほど退院し自宅療養中です。

三和局長から多治見の湯のみとあいさつ状を贈られた両人は、終始にこやかに「これからも社会のためにつくしたい」と話していました。

交通安全 みんなですすめよう 交通安全

秋の全国交通安全運動



ひとりひとりが

正しい交通ルール

今回の運動では、県民一人ひとりが正しい交通ルールを習慣づけ「交通」事故のない平和で住みよい郷土と幸せな家庭づくりをめざしています。警察の厳しい指導と取締りにもかかわらず、暴走、飲酒運転はいぜんとしてあとを断ちそうもなく、交通事故の大半を占

めていきます。スピードの出しすぎや酒飲み運転は、大事故につながる事が多く、村では、管内各関係機関、団体の代表者五十人を集めて去る十月十四日交通安全合同打合せ会議を開催し、村民一人ひとりが交通ルールを守り、それぞれの立場で交通安全を励行することを確認しました。

■愛のひと声運動
道路の利用者で、もともと弱い立場にあるのは歩行者です。とくに子どもと年寄りの事故が増えています。家庭

や町内では「愛のひと声」運動を励行し、また母親は家族対話の中心となり安全意識の高揚につとめることにしています。

■やめよう飲酒運転
酔っぱらって車のハンドルを握るということは、常識で考えられないことですが、酒を飲んだら乗らない、乗せない、運転するときは乗せないの三つをそれぞれの立場で守るほかにあります。

■シートベルト、ヘルメットの着用は、身の安全を保障するということを認識し、習慣づけることにしています。

もう死者を出すな!

合同査閲式

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から三十日までの十日間実施されますが、この運動に先がけて金木警察署管内警察官、婦人交通整理員、防犯指導隊、交通指導隊合同の交通査閲式が金木町中央公民館で行われました。

金木警察署管内の交通事故も昨年からべらべら大きく上まわる異常ぶりですが、この非常事態に心機一転指導取締りにあたろうと、と各町村合同の査閲式となったものです。

交通査閲式には、市浦村からも十一人の隊員が出席し、大橋忠勝金木町長、今与八郎安協会長、松橋重蔵金木警察署長の査閲を受け、テキパキとした態度で行進していました。



コーヒーマービスとチラシを配る会員たち

安全運転ご苦労さん

コーヒーマービス

子どもと老人を交通事故から守りましょう。と相内保育所白鳥クラブ母の会(会長白川植子)では、このほど運転者へ「コーヒーマービス」と安全運転を呼びかけるチラシをくばりました。

母の会では、子どもを交通事故から守るのは母親の義務であるとして定期的に学習会を開いたり、交通安全運動には自主的な事業計画をたて積極的に運動に参加しています。

この日も三十人の会員が街頭に出て「コーヒーマービス」を配っていました。配ったチラシの内容も、「日一回家族だんらん席で交通事故防止について話し合いをしましょう」と運転者と歩行者に呼びかけています。



査閲をうける隊員たちの表情も厳しい

第五回NHK青年の主張全国コンクール

出場者募集

NHKでは、広く全国各地の青年に意見発表の場を与え、現代の青年がなにを感じ、なにを考えているかを一般に訴えるとともに、現代の若い世代の清新に於て、かつ建設的意見を交換するために、「NHK青年の主張全国コンクール」を実施していますが、今年度で二十五回を迎え、現在出場者を募集中です。

えていること
(C)わたしの父親論・母親論
(D)わたしにとっての青春
(E)感動した一冊の本
の五つです。

出場ご希望の方は、課題から一つを選び、五分以内で意見を発表できるように四百字詰め原稿用紙四枚程度にまとめ、十月二十七日(金)までに所定の応募票をえてNHK青森放送局へ申込みください。参加資格は

昭和二十八年一月十六日から昭和二十八年四月一日までに生れた方で、性別・学歴・職業、および国籍は問いません。

なお、原稿審査に通過された方に、県大会に出場させていただきます。県代表を選び、そしてその後、地方大会を経て、全国大会(一月十五日、NHKホール)で各地方代表が発表します。

くわしいことはNHK青森放送局にお問い合わせください。

お年寄りや障害者と税金

国では、お年寄りや身障者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな特典を設けています。

年寄りや身障者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな特典を設けています。

又、七十歳以上のお年寄りや扶養している人は「老人扶養控除」として一人当り三十五万円(通常の場合二十九万円)を所得金額から控除することがあります。

昭和二十八年一月十六日から昭和二十八年四月一日までに生れた方で、性別・学歴・職業、および国籍は問いません。なお、原稿審査に通過された方に、県大会に出場させていただきます。県代表を選び、そしてその後、地方大会を経て、全国大会(一月十五日、NHKホール)で各地方代表が発表します。くわしいことはNHK青森放送局にお問い合わせください。

税のしおり

国では、お年寄りや身障者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな特典を設けています。

又、七十歳以上のお年寄りや扶養している人は「老人扶養控除」として一人当り三十五万円(通常の場合二十九万円)を所得金額から控除することがあります。

私の学級

四月、真っ白な画用紙にデッサンをするような気持ちで、一年生の担任になりました。ところが、ひと月ふた月と過ぎてみると、彼らはすでにデッサンされていて、消しゴムで消して直そうとしても、なかなか簡単に直せる代物ではないということに気がつきました。

個性豊かな子どもたち
ぼかり述べましたが、女十二名の方は、いたって心やさしくしつかり者でなんの心配もいらない子ども達です。担任の欲目かも知れませんが、美人揃いでもあります。もう一つ、うれしいことがあります。それは、おもろいながらも、まだないということです。これは、ほめるべきことではないでしょうか。



脇元小学校
一年担任 齋藤 恵美子

また、愉快なことに、私は時々「おかしやん」「あつちや」と呼ばれています。学校と家庭の区別がつかないと言われればそれまでですが、「おかしやん」「あつちや」と観られる子ども達は、本当にかわいいです。

津軽の先住民族



▶ 9 ◀

津保化族 ②

豊島勝蔵

馬を神として崇拝

この津保化族はたいへん武勇にすぐれ、とくに馬術・弓術に秀でた民族であったといわれています。なかなか、津軽における騎馬民族のような気もしますが、漂流した時に船に馬も乗せてきたものでしょうか、その点はつきりわかりません



ツボケ族は背たけの低い民族でした。男は狩猟、女は衣服を織ったり草履や果実を採集していました。(村史資料編上巻より)

けれど、馬術は抜群で、とても馬を大切にし、馬を神さまとしあげたてまつったということですよ。

梵珠の北に「ツボケ山」

梵珠連峯の北方に綱を伏せた格好の山がありますが、登化森とか、源八山とか、鉄鉢山とか呼ばれています。文政五年に写した「古地図」には、片仮名で「ツボケ山」と記されている山です。この山一帯に津保化族が住んでいたところから名付けられたといわれています。また、このツボケ山の南方に馬神山という山もありま

す。津保化族が馬を神さまとして祭った山とも伝えられています。津軽の神社の境内に馬像が多く見られるのも、津保化族の馬神信仰と関連があるような感を覚えます。人相容貌については、絵

ては背たけの小さい民族であつたらしいです。男は狩猟をするための石器をつくり、弓矢をつくり、西走して盛んに山野河海を東奔して、魚貝鳥獣をとり、食糧をにぎわしていました。もちろん、火も使用しました。女は毛皮や草木の皮を材料として衣服を織つたり、野山の草根や果実を採集したり、火種を絶やさないように努めていました。男とも腕や足や額に飾物をつけたりしてオシャレもしました。

土器をつくり器を形成

この津保化族の時代で大書しなければならぬことが二つあります。その一つは、土器をつつたということです。この仕事は女子がしたといわれていますが、人間がはじめた科学的方法によつて物を製作したことにはすぎません。山から粘土を運んできて、水でよくこねて長い紐とし、それを巻きあげていろいろな形をつくりました。そして、表面にさまざまな方法で文

様をつけて、火に入れて焼きました。このことは、偶然な事象たとえば、火をたいいていた個所の土が固まつたりしたことから考えついたものと思われません。その二は、一族がみな色をなして暮らしたことです。先住のアツベ族と同じく狩猟集によつて生活しましたが、アツベ族が移動する性格を持つていたのに対し、定住性を持つていました。住家も大きく屋根は葺きぶきましたが、屋内に鳥獣も飼育したほででした。家の建て方もちがっていました。木柄を形に組み立てたやうで

ツボケ文化を建設

これからの事はらは、何百年、何千年の間に、ツボケ族の創意と工夫とによつて改良に改良された文化の進展をみたことになるわけで、朝一夕でなされたものでないことを銘記しておかなければなりません。アツベ族との戦いも続けられたことだし、ツボケ文化の建設にもなみなみならぬことがあつたでしょう。

東日流弁 ⑨

(寛政年間)

一七八九(一八〇二) ヨセタメ(敵軍) ムツマシ(和交) ケアアナ(抜六) タカジョウ(鷹狩) カラメ(攻める) アラマ(騎馬武者) コウ手柄(騎馬) レ(習ふ) ジャツパ(台物) ビッキ(童) スコタマ(働き) シババ(寒さ) ドス(病) クワチイ(でも) ダミ(死) テキギ(発明者) アネコ(美女) アヤ(父) アバ(母) アバ(親母) ァツコ(親父) テケ(不具者) ヤントラ(基地) ガンド(盗人) ノノコ(精出) ナギ(日和) バタラ(着衣) トラボ(逃る) ダンプリ(飛ぶ) 一ド(君主) モツケ(狂婦) ゲロコ(大衆) カムイ(神) チャド(盲人) ソドメ(田植せ) バダリ(商人) アダコ(子守) チボケツツ(不孝者) カマダシ(道楽者) オボ(赤兒) イタコ(靈媒) シロボコ(酌女) ケビス(役人) マゴ(馬追) チャカシ(そこ者) カガ(妻) メシド(女) ゴミン(神占) ホダケ(善人) テア(夫) テンツキ(子宝)

おしらせ

予 防 接 種

三種混合（百日ゼキ・破傷風・ジフテリア）の予防接種を次により実施します。

該当者には、個人通知をしますが、転入等により通知もれがありましたら役場（民生課）へ連絡してください。

■対象者

1. 昭和50年7月1日～51年6月30日生れ。（1期1回～3回）
2. 1期予防接種12カ月～18カ月（前年1期の予防接種をおわった人。）
3. 前年都合が悪く、受けられなかった人。

■日時と場所

とき	ところ	じかん	備 考
10月13日	太田センター	13:30～13:40	1期の1回目は 9月12日に終わ りました。
	十三診療所	14:00～14:20	
	脇元公民館	14:40～15:10	
11月14日	市浦診療所	15:20～16:00	

狂犬病予防接種

昭和53年10月1日より犬の登録料が変わります。

■登録料 1頭 300円が 2,000円に

■注射済証交付手数料 150円が 300円、注射料金 650円

狂犬病の予防接種

■10月23日

太田センター前	10:00～11:00
桂川（秋田谷久助前）	11:30～12:00
役場前	13:00～14:30

■10月24日

脇元出張所前	10:30～11:30
磯松公民館前	11:40～12:10
十三出張所前	13:00～14:00

子宮ガンの検診

子宮ガンの検診は次のとおり実施されます。対象者は必ず受診するようにしてください。

■対象者 30歳以上の婦人

■日時・場所 10月27日 13:00～15:00、相内児童館
（相内、桂川、太田地区）
10月28日 9:00～11:00、十三公民館
（十三、脇元、磯松地区）

当日は、1時間前から受けつけします。

観光写真コンクール

作品を募集しています

市浦村観光協会（工藤章二郎会長）では、村内の観光、風物写真を募集しています。

■内容 市浦村内の観光、風物写真に限る。

■作品の大きさ

白黒は四ツ切、カラーはスライド35ミリ以上（カラープリントは受けません。）

■応募のきまり

①未発表の作品に限ります。②画題は村内の観光風物とし、住所、氏名を白黒は裏面、または応募票、カラーはスライドはそのマウントに記入のこと。③応募は白黒、カラーそれぞれ2点以内とします。④応募作品は原則として返却いたしません。⑤入賞作品の著作権は主催側に帰属します。

■賞金 1等 5,000円 2等 4,000円 3等 3,000円

■作品の受付 市浦村商工会内観光協会。

■発表 昭和54年1月の作品展示会場で発表します。

■募集〆切日 昭和53年12月末日。

■その他 くわしいことは観光協会へ。

市浦村職員募集

市浦村職員を下記により募集します。

■職種および採用予定人員

- (1)一般職 若干名
- (2)保母 若干名

■受験資格

(1)高等学校卒業又は、同等程度以上の者で満25歳以下の者（昭和54年4月1日現在で高等学校卒業見込みの者を含む）

(2)本村に住所を有する者、又は現に市浦村住所を有しなくとも採用後本村内から通勤可能な者。

■第一次試験日、昭和53年11月5日（場所後日通知）

■第二次試験日、昭和54年2月初旬の予定（確定次第第1次試験合格者に通知する）

■試験場所 市浦村役場

■受験手続

- (1)受付期間 昭和53年10月2日から6日まで
- (2)提出書類、受付順書（役場備付）履歴書（上半身服帽の写真添付）健康診断書、最終学校卒業証明書。

■その他

(1)上記試験に合格した人は、市浦村職員採用候補者名簿に高点順に登録され、欠員等が生じた都度採用される。

(2)詳しいことは、総務課行政係へお問合わせください。（TEL 2111）

